

# 第3学年 社会科学学習指導案

活動日 平成14年2月16日  
 授業者 丹羽 典枝  
 活動場所 3年1組教室(校舎3階東)

## 1. 単元名 「むかしをしらべる」 (全9時間)

### 2. 単元について

本単元での「むかし」とは、地域の高齢者が子どもだった頃や現在も残っている昔の暮らしに関わる道具が使われていた頃をいう。道具については、地域の資料館や児童が持ち寄った道具を使用する。また、本単元では、その当時の様子を暮らしに関わる道具や高齢者の話をもとに調べ、当時の人々の暮らしの様子、知恵や工夫が分かることをねらいとしている。

児童は、昔の遊びについては、生活科で学習し、体験してきている。しかし、昔の道具について地域の「ふるさと資料館」や博物館を利用したことのある児童は数名である。

そこで、現在も残っている昔の道具を地域の資料館で見学して調べたり、実際に使ってみたりして、昔の人々の生活の様子や、知恵・工夫を考えさせたい。

### 3. 願う子どもの姿

- ・昔の道具を使ってみたり、資料館を見学して調べたことを図・絵・文などでまとめることができる。
- ・昔の道具の様子や使い方を知り、人々の暮らしの変化や当時の人々の暮らしの知恵が分かる。

### 4. 研究内容との関わり

**研究内容 に関わって** (基礎・基本を確立するための、情報教育カリキュラムにのっとった単元指導計画の在り方)

資料館の見学にはデジタルカメラを活用する。撮ってきた写真を新聞作りで、自分のために必要な写真を選び利用する。

**研究内容 に関わって** (基礎・基本の力をつける学習活動の在り方)

社会科の「調べて考える力」を育てるため、体験活動を取り入れる。そして、その体験を通して分かったことを、友達と話し合うように仕組む。

**研究内容 に関わって** (基礎・基本の定着を図る自己評価の在り方)

本時の学習を振り返る場を設け、課題に対して自分の考えは持てたか、また、友達の意見を聞いて自分の考えはどう変わったか、学習したことを振り返らせたい。

### 5. 単元指導計画

	ねらい	主な学習活動	自ら学ぶ姿の育成
第一次	1 ・ 2 ・昔の暮らしの道具やそれらを使っていたころの暮らしの様子に関心をもち、調べるための学習計画を立てる。	・集めた古いものがいづごろ使われていたのか調べる。	古い道具を見つけたり、高齢者に話を聞いたりして昔の様子を調べて調べるができる。
第二次	3 ・ 5 ・自分の家にある古いものを探したり、地域の歴史資料館を見学したり、聞き取り調査をしたりして、古い道具について調べる。	・自分の家や祖父母の家、近所のある古いものを集めたり、道具の使い方を聞いたりして調べる。 ・地域の資料館を訪れ、古い道具の使い方やそのころの暮らしの様子について見学したり、おじいさんやおばあさんに聞いたりして調べる。	古い道具を進んで調べることができる。
第三次	6 ・ 7 ・ 本時 ・昔の道具を実際に使ってみて分かったことをもとに、昔の人々の暮らしの様子・知恵や工夫を考えることができる。	・古い道具はどのように使われていたのか調べ、人々の生活の知恵や工夫を考える。	古い道具調べから分かったことを話すことができる。
第四次	8 ・ 9 ・昔の暮らしの道具やそれを使っていたころの暮らしについて調べたことや考えたことをまとめる。	・昔の暮らしの道具やそのころの暮らしについて調べたことや考えたこと、分かったことをまとめる。	暮らしの様子について分かったことを話すことができる。

## 6. 本時の目標 (7 / 9)

昔のいろいろな「さおばかり」を使う体験活動を通して、昔の人々が手軽に重さを量るように工夫をしていたことに気づくことができる。

## 7. 本時の評価規準

思考・判断	古い道具を使う体験活動を通して、昔の人々の暮らしの様子・知恵に気づくことができる。
-------	---

## 8. 本時の展開

段階	学 習 活 動	研究に関わって 資料 評価 支援
つかむ	1. 本時の課題が分かる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">昔の人は、さおばかりをどうやって使っていたのだろう</div>	
ふかめる	2. いろいろなさおばかりを使い比べて、感想を交流する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな大きさのさおばかりがあるんだ。</li> <li>・さおばかりで重さをはかるのは簡単そうだと思っていたけど、難しい。</li> <li>・こんなさおでうまくはかれるな。</li> <li>・二通り使えて考えてあるな。</li> <li>・今のはかりとはずいぶんちがうな。</li> </ul> 3. 昔の人々の暮らしや気持ちなどを想像する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・はかる物によっていろいろな大きさのはかりが考えられていたんだな。</li> <li>・一つのはかりでたくさんはかれるように考えたんだろうな。</li> <li>・うまくはかりが使えるようになるには時間がかかったんだろうな。はかれるようになるまで練習したんだろうな。</li> </ul> 4. 本時のまとめをする。	いろいろな大きさのさおばかり さおばかりには、昔の人々の工夫があることが分かる。 必ず自分ではかりを使ってみるように助言する。 使ってみての感想が話せるように問う。
まとめる	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">一本のさおと一つのおもりをうまく使って重さをはかっていたことが分かった。昔の人は、道具を考えて作っていたんだな。 昔の人の工夫は、すごいな。</div>	